

巻頭言

## 創刊に寄せて

小沼通二



“ 武蔵工業大学環境情報学部情報メディアセンタージャーナル ” の創刊を迎えたことをうれしく思います。このジャーナルは、2000年2月29日に創刊された“ 武蔵工業大学環境情報学部紀要 ” に続き、私どもの学部から情報とメディア関連の研究成果を中心に発信される第2の機関誌です。

武蔵工業大学は1996年に横浜市の北部に新しいキャンパスを建設し、ここに同年12月に創設された環境情報学部が、1997年に最初の学生を受け入れました。専任教員32名は1999年4月までにそろい、学部とキャンパス、そして大学の発展を目指して教育と研究に努力を続けています。具体的には現在、2001年3月の最初の卒業に向けて、就職活動と大学院設立の準備が進んでいます。

このキャンパスには学部付属の施設として情報メディアセンターが設置されています。センターは、幅広い情報収集を行う上での軸となる図書館（武蔵工業大学図書館の一部）、目的に合わせて情報の整理と加工を行う情報メディアシステム、コミュニケーションツールとしての語学を磨く多機能のLLを備えています。さらにキャンパス全体にLANケーブルと無線LANによって情報ネットワーク（YC-NET）を張り巡らし、CATVネットワーク（YC-CAT）も配備し、衛星受信設備も備えて、広く利用されています。

実は最初、情報メディアセンタージャーナル発刊の希望が出されたとき、学部紀要との両立が可能かどうか、いささかの危惧がありました。しかし2000年1月には情報メディアセンター研究プロジェクトが発足し、学部内の専任教員11名が参加して情報やメディアに関する研究とこれらの分野の教育方法に関する研究が情報メディアセンターを中心にして積極的に進められる条件が整いました。

このような状況の中で、学部紀要とセンタージャーナルとの両立が可能だと学部全体で判断し、情報やメディアに関する教育・研究および調査等を発表する場として“ 武蔵工業大学環境情報学部情報メディアセンタージャーナル ” の発足を決めたのです。

実際、予想に違わず短期間の中に、多数の興味深い論文・実施報告・解説記事・学生報告が集まり、この創刊号の発足を迎えることができました。

21世紀の世界を目前に控え、マルチメディア時代、デジタル化社会への急激な変革が進んでいる現在、情報・コミュニケーションの重要性はますます高まっています。情報メディアセンタージャーナルが健やかな発展を続けていくことを願い、読者からの反応・ご批判・ご支援を期待しております。